

小学校の吹奏楽の楽器編成

吹奏楽〈木管楽器+金管楽器+打楽器〉

● 小学校における吹奏楽の編成について

標準的な編成は、コルネット(トランペット)、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバの金管楽器に、ピッコロ、フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォンの木管楽器、そして打楽器が加わった形です。編成に絶対的な基準はありませんが、小学校の吹奏楽の場合は、可能な限り1つのパートを複数で演奏できるような配慮が必要です。また演奏曲により、例えば打楽器を強化することも大切です。

● 音楽面での特長

吹奏楽はオーケストラよりも長い歴史を持ち、世界各国で親しまれています。金管楽器の輝かしい響きに加えて、木管楽器のしっとりとした情感のこもった響きがより豊かな表現を可能にします。クラシックからポップス、ジャズと選曲の幅も広がり、またステージからマーチングまで、あらゆる種類の演奏が楽しめます。



小学校の吹奏楽編成例

楽器名	編成数			
	30人	40人	50人	60人
ピッコロ			1	1
フルート	3	4	4	5
オーボエ				1
E [♭] クラリネット		1	1	1
B [♭] クラリネット	6	7	8	9
アルトクラリネット				1
バスクラリネット			1	1
ファゴット			1	1
ソプラノサクソフォン			1	1
アルトサクソフォン	2	2	2	3
テナーサクソフォン	1	2	2	2
バリトンサクソフォン	1	1	1	1
コルネット	4	4	5	6
トランペット		2	2	2
ホルン	3	4	5	6
トロンボーン	3	4	6	7
バストロンボーン	1	2	2	2
ユーフォニアム	2	2	2	3
チューバ	2	2	3	4
パーカッション	2	3	3	3
スネアドラム				
バスドラム				
シンバル				
ティンパニ				
マリンバ				
シロフォン				
ビブラフォン				
グロッケン				
チャイム				

※マーチングには、マーチングパーカッションを使用すると、一層演奏が引き立ちます。